

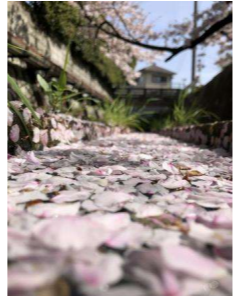





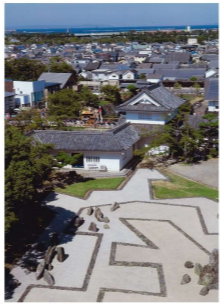





## 令和3年度「こころに残る眺望景観」応募作品一覧

番号	エピソード	写真
1	『春の久米田寺』 月に1度 お参りに行きます。春はサクラが咲き 1番ほっこりする時期のお寺参りになります。(56歳男性)	
2	『朝霧に包まれた岸和田城』 その日も市場に野菜の仕入れに行っていました。段々と海の方から霧が発生。前方の信号もかすんで見えます。ゴールデンウィーク明けで忙しいのですが、気持ちのはやり、仕入れは簡単に済ませて、岸和田城へ結果がこの写真です。雪の積もったお城は何度も見た事がありますが、こんな霧に包まれた岸和田城は初めてでした。スマホで数枚撮影しました。数時間後には 見事な晴天になっていました。梅雨入り前に 気温も高くこのような現象が起こったのだと思います。不思議な空間でした。(58歳男性)	
3	『桜 上を向いての花見、シーズンが終わったら 今度は下を向いて』 ここは 城見橋 桜も終わり、ふと 橋の上から山手を見ると、桜の下に綺麗な花びらが落ちています。 小さな溝に綺麗に並んでいたの、撮影しました。(58歳男性)	
4	『令和の初日の出』 2021年の始まりを象徴したような初日の出になりました。(46歳男性)	
5	『春の訪れ』 コロナ禍で生き苦しい世の中でも、自然の中はいつもどおり、のどかなーと撮影しました。(46歳男性)	
6	『かすむ港』 北阪八幡宮の眺望台からの景色です。みんなの中で生活しているんだなーと思いました。(46歳男性)	

## 令和3年度「こころに残る眺望景観」応募作品一覧

番号	エピソード	写真
7	『夏盛り』 岸和田の街の中の雄大さを感じる風影だと思います。(46歳男性)	
8	『台風爪跡』 久米田池を歩いていると木が倒れ一輪のショウブがむなしく咲いていた(85歳男性)	
9	『お地藏さん』 田舎の幼い頃の地藏盆の思い出(85歳男性)	
10	『小さな命』 可愛らしい赤ちゃんカモ誕生(85歳男性)	
11	『梅雨の谷間』 とんぼ池公園のあじさい園に行きモデルさんが写真撮り(85歳男性)	
12	『池に映る朝日』 早朝池を歩いていると木の間に太陽が出ていい景色(85歳男性)	

令和3年度「こころに残る眺望景観」応募作品一覧

番号	エピソード	写真
13	『望郷』 私は岸和田市に在住して居りませんが、家内の実家が岸和田（本町）です。城下町の風情の感じられる所です。今まで祭りの当日、お城に入れる事が知りませんでした。天守閣には何度も登っていましたが、当日初めて登りました。江戸時代に殿様も同じような風景を眺めていたのかと思うと何となく楽しくなってきました。チャンスがあれば是非登ってみて下さい。（79歳男性）	
14	『工業の町岸和田臨海町』 何気ない工場の外観、無機質な中にもテーマパークやアニメ「ハウルの動く城」などを思い出させるような動きを感じる雰囲気がとても好きです。改めて、岸和田が工業の町である事も実感できる場所。（59歳男性）	
15	『岸和田駅屋上より』 岸和田駅の屋上駐車場に車を止めた際、岸和田駅前のきれいな眺望が目に入り、思わず写真を撮りました。昔と比べ新しい建物が建ったり、自転車専用レーンができたりと少しずつ町の様子にも変化が出てきているように感じます。今後も駅前空間が変わっていくと思いますが、現在の様子をこころに残る眺望景観に残していけたらと思い紹介しました。（33歳男性）	
16	『岸和田港を望む』 カンカンベイサイドモールを奥に行った所に広場があり、そこから岸和田港を望む写真です。左側には阪神高速の大きな橋と、岸和田港を象徴するモニュメントとして大きな錨があり、右側には岸和田水門が見渡せます。広場は定期的に草が刈られており、バーベキューをしている市民もよく見かけます。（33歳男性）	
17	『神於山展望台から』 神於山には、過去に数回登ったことがありましたが、7月中旬、サイクリングでチャレンジしました。展望台まで行くには、かなり急な坂道で自転車を降りる羽目となり、大きな荷物を押しての登山となりました。途中、手も離せない状況で耳元に虫がちょっかいをかけてくるので、自転車で来たことを後悔しましたが、展望台に上って市内を見渡した時、その苦労が吹き飛び、帰りの下り坂は爽快な気分となりました。（49歳男性）	
18	『地獄坂から見る久米田池』 地獄坂は岡山町の高台に続く坂道になっています、途中振り返ると眼下に見える久米田池の風景はとても良い眺めだと思います。（49歳男性）	

令和3年度「こころに残る眺望景観」応募作品一覧

番号	エピソード	写真
19	『塔原町のサクラからの眺め』 7月中旬、サイクリングで塔原町のサクラの地を訪れました。360°山に囲まれたこの場所は、春だけでなくとてもいい景色です。サクラは、いつもこの眺望を楽しんでいるのですね。（49歳男性）	
20	『内畑町の橋から』 サイクリングの途中に島を発見？内畑町には牛滝川に囲まれたところがあり、島国に来たかと錯覚する場所があります。フェンスや、電柱もないので、いい景色だと思います。（49歳男性）	
21	『蜻蛉池公園の大芝生広場』 緊急事態宣言の合間に訪れた、蜻蛉池公園の大芝生広場です。広大な敷地一面が芝生になっており、ソーシャルディスタンスも保たれこの時期のレジャーには最適。芝生に寝っ転がると、とても気持ちがいいです。（49歳男性）	
22	『蜻蛉池公園の展望台』 蜻蛉池公園の展望台から下を眺めると、芝生の広場などの緑が一面に広がっており、遠くに神戸まで見ることが出来ます。ここからの景色を眺めていると、日常を忘れさせられるような気分になりました。（49歳男性）	
23		
24		